

摂食嚥下機能評価実習研修会 概要

【目的】

摂食嚥下機能評価及び摂食機能療法のための専門的な知識・技術を有する医師・歯科医師および関連職種 of 養成を目的とします。

本研修会は「胃瘻造設時嚥下機能評価加算」の算定（内視鏡で評価する場合）にあたって、修了すべき研修の要件を満たすよう企画しています。研修会終了時に修了証を交付します。この加算は医科のみの対象で、歯科は対象となっていません。

【研修時間】

1 日（講義 5.5 時間＋内視鏡実技 1.5 時間）

【研修対象】

医師，歯科医師（関連学会員か否かは問わず）

- 喉頭ファイバースコープを診療として実施している経験を 5 年以上有する方は講義のみの受講で可とします。

申し込み時に、診療実績として簡単な経歴の記載および内視鏡実施症例リスト 10 例（年齢，性別，原疾患，重症度，摂食レベル，方針等を記載）を提出していただきます。

【研修会内容】

1. 摂食嚥下障害・総論

- ・ 口腔，咽頭，喉頭の解剖
- ・ 摂食・嚥下のメカニズム（嚥下モデル）
- ・ 摂食嚥下障害の原因疾患
- ・

2. 摂食嚥下障害の評価・診断（実施方法，リスクマネジメントを含む）

- ・ 神経学的所見，全身状態
- ・ スクリーニング検査
- ・ 嚥下造影検査
- ・ 嚥下内視鏡検査
- ・ レポートに記載すべき内容

3. 内視鏡下嚥下機能評価検査の所見と評価

典型症例とその対応（実際の検査動画を用いた症例検討）

4. 摂食機能療法の実施方法

- ・ 間接訓練
- ・ 嚥下手技
- ・ 姿勢調整
- ・ 食物形態による調整

5. 摂食機能療法の効果評価方法

- ・ 摂食嚥下障害の重症度
- ・ 摂食状態
- ・ 栄養状態の評価
- ・ 肺炎徴候の診断

6. リハビリテーションに必要な栄養管理

7. 内視鏡下嚥下機能評価検査の実施方法【演習】

（模型と健常被験者に対する実技）

- ・ 挿入経路
- ・ 嚥下評価時の観察ポイント
- ・ 注意すべき事項

*内視鏡実技演習は、初心者の方を対象として、健常被験者への挿入デモンストレーションおよび、模型を用いた挿入の実技演習を予定しております。

以上